

## 3月6日 瑞浪北中学校が 初めての卒業生を送り出しました！

この日は卒業生の晴れの門出を祝うにふさわしい晴天でした。生徒たちは3年生だけが登校しました。突然の臨時休校から4日しか経っていませんが、本来ならば残りの中学生生活を満喫できる4日間だったはず。仲間の姿を見ると、大きな声で名前を読んだり、笑顔や言葉を交わしたりする姿があちらこちらに見られました。

9時から卒業式が始まりました。規模縮小、在校生不参加、マスク着用、そして合唱なし……世の中の現状による大きな制約が課せられた卒業式でしたが、実に厳かに、そして粛々と式は進みました。



卒業証書授与では、十分な練習ができなかったにもかかわらず、マスクをかけての返事とは思えない力強い返事を卒業生たちは響かせました。歩き方、証書の受け取り方、美しい礼はさすが3年生。見事にやり遂げました。

瑞浪北中学校初めての卒業生は、「主体性」と「礎」の二つの言葉に象徴される素晴らしい実績を残しました。参列してくださった教育委員の羽柴氏は、式後、次のように述べられました。

「『主体性』と『礎』という二つの言葉が印象に残りました。北中の最初の一年、生徒たちはその二つを心にとめて頑張ったことがわかる卒業式でした。素晴らしかった。」

最後の学級解散式でも別れを惜しみ、仲間や教師に感謝する気持ちを素直に表していました。黒板には、前日に3人の担任が書いたメッセージやイラストがぎっしり！生徒たちはそれを見て、卒業を改めて実感したようでした。



卒業は巣立ちです。これから飛び出していく世界には、これまで味わったことのない苦しさやうれしさがあると思います。臆病にならず、どんどん挑戦して素敵な大人に成長してください。瑞浪北中学校卒業生、頑張れよ！



